

攻めのITが際立たせたバネ職人の価値 高いモチベーションで成長軌道を邁進！

大阪府大阪市・
バネ製造業
東海バネ工業

IT経営を実践中の企業としてここ数年間、数々のマスコミでの紹介や表彰を受けてきた大阪府の東海バネ工業が、最近になって、2008年ポーター賞、中小企業IT経営力大賞2009と、また大きな賞を二つ受賞。経営改革が一時的もので終わらず、休むことなく進化を遂げている証である。

東海バネ工業は、あらゆるバネを1個から納品できるオーダーメイドを得意とする。国内の原子力

発電所で使われるバネはほぼ100%同社の製品だという。

**価値に見合った売価で
適正利益体質を作る**

2002年にWebを活用して技術力を徹底アピールする「攻め

のIT活用」で新しい販路を開拓。渡辺良機社長が「うちには腕のあるバネ職人がいますので、360度どこからかかってきてもらっても大丈夫でした」と表現するように、Webからの様々な依頼に対応。売上は右肩上がり、2006年期からは営業利益率二ケタ台を確保している。

「従来の2倍の寿命を持つバネなど、付加価値の高い製品開発も行っています。さらには納期厳守、クレーム発生率は配送段階の事故も含めて1%以下です」

値下げ競争が厳しくなる環境にあつて、売価のアップも実行した。多品種微量生産において適正利益を確保できる体制を構築できたのは、「バックでITの仕組みが支えており、人にしかできない付加

会社概要

東海バネ工業株式会社

大阪府福島区鷺洲3丁目7-27

事業内容：バネ製造。高い技術力と開発力による多品種微量生産体制を持つ（1個から製造可能なオーダーメイド生産体制）。兵庫県の伊丹市と豊岡市に工場を所有。

設立：昭和19年

従業員数：80名

URL：http://www.tokaibane.com



◀兵庫豊岡市にある工場



▲熟練した職人の手によるバネづくり。品質には絶対的な自信を持っている

豊岡工場での
皿バネ製造風景

東海バネ工業のIT経営

事業 量産品ではなく、微量生産のオーダーバネが得意

強み 卓越した職人技…原子力発電所のバネなども手がける

IT活用

受注情報、図面情報をデータ化
・リピート顧客に信頼
・効率化

Webサイトによる営業
・強みを明らかに
・隠さず公開

新規受注増

既存システムを活かした次のIT活用
・リ・オ・ダ(Web・EDI)
・TASUKAL(顧客対応強化)

課題

オーダーメイドのビジネスモデルを確立
しかし、「損はしないが儲からない」

西岡IT塾、ITコーディネータの支援

さらに経営体質を強くするには？

改革は続く…

される。

**オープンな社風が
従業員の自主性引き出す**

渡辺社長は、ITへの投資をどう見ているのだろうか。

「出費は決して喜ばしいものではありませんが、『勝手にやったらええやん』と言っています。従業員のモチベーションを下げるようなことはしません。幸い、2002年からはIT導入の成果に対する学習効果がありますから」

ITの費用対効果がつかめないと導入に二の足を踏む企業を横目に、なんとも鷹揚な姿だ。しかし、渡辺社長が最初にITに白羽の矢を立てたのは、「このままでは東海バネ工業が消えてなくなるという恐怖感から」だったという。「ITを使おうとしないのは、困っているという切迫感がないからなのでは」と鋭く指摘する。

東海バネ工業では、あらゆる社内の情報を隠さずに従業員に公開している。オープンな社風が従業員の自主性を育てており、またそれこそが同社の最大の財産である。

特別対談

「飛躍への転機」を作った ITコーディネータの価値と活用法とは？

渡辺良機社長 × ITコーディネータ協会・中塚一雄氏（文中敬称略）

中塚 一品物のバネを納期遵守で製造し、値下げ競争に巻き込まれるどころか適正利益を上げるビジネスモデルを確立されていらっしゃる。拝見していると製造業とは違う業種なのではないかと思うくらいです。

渡辺 「何をお売りになっているのですか」と聞かれたら、「ソリューションです」と答えます。製品を通じてお客様が困りになっている問題の解決をしていると思っています。

中塚 ITが改革のきっかけを作ったのは非常に喜ばしいことです。しかし、最後の部分は見逃せないお言葉ですね。経営者に選ばれたITCとはどのような人物像なのでしょうか。

渡辺 製造業の生産技術という、最新鋭の量産機械を指す企業もありますが、うちは職人の腕。単品を安く速く作れる機械はありませんから。

この価値に改めて気づかせてくれたのが2002年に西岡郁夫さんを塾長に開催された西岡IT塾であり、ITコーディネータ（ITC）の佐伯祐司さん、岡田修一さんです。

中塚 ITC自身も人間力や人間観察力を磨き、皆様のお役に立とうという姿勢をきちんと示していくことが必要ですね。

渡辺 ITを活用すると生まれ変わることに気づいていらっしゃる企業はまだたくさんあるはずですが、困っている企業をもっと発掘して、きっかけを提供していただければと思います。



たのが2002年に西岡郁夫さんを塾長に開催された西岡IT塾であり、ITコーディネータ（ITC）の佐伯祐司さん、岡田修一さんです。

ITCに出会ったのが2002年に西岡郁夫さんを塾長に開催された西岡IT塾であり、ITコーディネータ（ITC）の佐伯祐司さん、岡田修一さんです。